

トレーニング、イノベーション及びテクノロジーの介入はアフリカの小規模農家の暮らしを向上させることができるが、厳密な研究はほとんどない



アフリカの小規模農家は、トレーニングに参加することを進んで行える

このレビューの目的は何か？

このキャンベルシステマティックレビューでは、アフリカの小規模農家の経済的成果及び食糧安全保障に対するトレーニング、イノベーション、新しいテクノロジーの効果を調査する。このレビューは、実験的・準実験的方法を用いた19件の研究をまとめた要約である。

トレーニングの提供や、新しい農業技術またはその実践の採択を奨励する介入により、アフリカの小規模農家の暮らしを向上させる可能性が示されている。例えば、農家が中がオレンジ色したさつまいも(ビタミンAを多く含むさつまいも)を栽培するのを支援することは、栄養状態を向上させるのにつながる。しかしながら、このような介入の効果を評価するために厳格な研究は行われていない。

このレビューでは何を評価したのか？

アフリカで生活している多くの貧しい人々は、生き残るために小規模農場に依存している。このような農家がより多くの農作物を生産し、農場から利益を得ることを支援することにより、地域の貧困削減に努めることに大きな関心が寄せられている。農家を養成し、新しい農作物の種類や肥料のような、新しい農業技術や生産物を教えることを、このような介入で行っている政府や国際支援機関によって、これらのアプローチに相当多額の投資がなされてきたが、食糧安全保障や経済的成果についての介入の効果は不透明である。このレビューでは、アフリカの小規模農家の経済的成果及び食糧安全保障についてのトレーニング、イノベーション、新しいテクノロジーの有効性を検証する。

どのような研究があったのか？

このレビューの研究としての採択条件を満たすために、次の条件が必要であった。a)アフリカで実施された研究であること; b)対象者として小規模農家を主とすること; c)トレーニングプログラム、そしてイノベーションと新しいテクノロジーの促進を評価すること; d)経済的成果もしくは食糧安全保障に対する介入の効果を測定すること; e)実験的・準実験的方法を用いること。

レビューには19件の研究が含まれている。即ち、トレーニングプログラムについての研究が5件、そしてイノベーションと新しいテクノロジーについての研究が14件である。ほとんどのイノベーションについての研究では、新しい農業的な援助の効果についての評価であった。

